

タッチラグビー競技規則

【ルール概要】

タッチラグビーとは、1チーム6人がグラウンドに出て、攻守交代を繰り返しながら相手チーム陣地奥にあるトライゾーンにボールをトライし、得点を競うスポーツです。ボールを持ったプレーヤーは自分より後ろの選手にボールをパスしながら、相手チームに6回タッチされない間にトライをすると得点になり、ミスや相手チームに6回タッチされると攻守交代となります。

【チーム人数・出場登録選手】

出場登録選手は1チーム14人、フィールドに立てるのは6人です。選手の交代はいつでも何度でも可能です。

【得点】

相手陣地のトライライン上、またはインゴールエリア内の地面にボールを付けると、トライとなり1点が入ります。ハーフはトライが出来ません。

【タップとは】

地面にボールを置いて、足でボールを転がすることによって成立します。試合開始時や相手に得点された後のプレー再開、また相手側のペナルティの再開方法として用いられます。タップが行われるとき、相手プレーヤーはタップの地点より10メートル下がっていなければなりません。タップしたプレーヤーが持って走るか、味方へパスするかでプレー再開されます。

タップによる相手チームの攻撃の再開

- フォワード・パス（前方にボールをパスする）
- 遅滞プレー（ゲームの進行を妨げる行為）
- タッチ・アンド・パス（タッチ成立後に味方チームにパスする）
- 7人以上のプレーヤーが同時にグラウンド内に入る
- オフ・ザ・マーク（タッチが行われた位置を越えてロールボールする）
- オフサイド（守備側のプレーヤーが、ロールボール時に7m以上、タップ時には10m以上後退しないで、攻撃側のプレーヤーに働きかける）
- ファントムタッチ（タッチしていないのにタッチしたと主張する）
- ハードタッチ（力まかせにタッチする）
- ボランタリーロールボール
- ホールディング
- オブストラクション

【ロールボールとは】

タッチされた地点または相手から攻撃権を得た地点にボールを置き、ロールボールするプレーヤーがゴールラインと正対した位置で自分の両足の間からボールをまたぐこと。タッチされた後に攻撃を持続する場合、あるいは相手のミスなどにより攻撃権を得たとき、プレーを始める方法として用いられます。ロールボールされたボールは、ロールボールしたプレーヤー以外の味方プレーヤーによって扱わなければなりません。

ロールボールによる相手チームの攻撃の再開

- プレー中にボールを落としてしまった場合
- ボールを持っているプレーヤーがグラウンド外に出たり、サイドラインを踏んだ場合
- ハーフがタッチダウンゾーンにボールを付けてしまった場合
- 6回目のタッチが行われた場合
- ロールボールを正確に行わなかった場合
- ダミーハーフ（ハーフが味方にパスする前に防御側にタッチされる）
- ノットストレート

【ハーフとは】

ロールボール後、最初にボールを扱ったプレーヤーを「ハーフ」と呼ぶ。すばやいロールボールが行われるとハーフのプレーヤーの攻撃チャンスが増えますが、その反面次のような制限があります。

- ハーフが味方プレーヤーにパスする前に防御側にタッチされた場合、攻撃回数に関わらず攻撃権が移動する
- ハーフは直接得点することができない

U8 特別ルール

まだルールの理解が未熟なことが多いこの世代ではペナルティーが多い。

ペナルティーばかりではゲームの面白さを味わうことができないため、軽微なものは流すまたはやり直しとする。

具体的には以下のペナルティーを対象とし、判断基準はレフリーに一任する。

- ・ロールボール時のフォワードパス、ノットストレート、インコレクトロールボール

また同様の理由で、ロールボールした箇所でのパスはキャッチするまでディフェンスは7m下がったままとする。ハーフが持ち出した場合は通常のプレーと同じ。レフリーは解除時に「どうぞ」「プレーオン」などをコールする。ディフェンスの選手がキャッチ前に7mより前に前進した場合プレーに支障がなければそのまま、支障をきたした場合はロールボールのやり直しとする。

参考

- <主なペナルティー> <https://note.com/kanatouch2/n/ncafb3ad72039#mxnOL>
- <レフリーのジェスチャー> <https://www.youtube.com/watch?v=8sUAZniCkE>